

2021長岡大学地域連携研究センターシンポジウム 新型コロナウイルス感染症による地域経済・福祉への影響

新型コロナウイルス感染症の流行は、我々の社会全体に大きな影響を与えています。今回のシンポジウムでは、新型コロナウイルス感染症がもたらす地域経済への影響と新たな地域福祉に視点をあて考察いたしました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、初のオンラインを併用し開催いたしました。企業・行政・市民の方々など、約30名の方からご参加いただき、盛況のうちに終了することができました。感謝申し上げます。

今後、ポストコロナ社会へ向けたICT活用によるコミュニケーションの推進や産業連関表から読み取れる経済変動の影響度合いについての議論は、これからの生活を考える上で非常に重要となるのではないのでしょうか。



記

- 1 名称 2021長岡大学地域連携研究センターシンポジウム
- 2 テーマ 新型コロナウイルス感染症による地域経済・福祉への影響
- 3 時期 2021年11月19日(金) 13:30~15:40
- 4 会場 まちなかキャンパス長岡 301会議室
- 5 参加費 無料
- 6 次第

総合司会：長岡大学地域連携研究センター事務室長 丸田 一 嗣

あいさつ

長岡大学学長／地域連携研究センター長 村山 光 博

第1部 基調報告

「新型コロナウイルス感染症」から見えてきた新たな地域福祉の視点と支援策

長岡大学教授／地域連携研究センター運営副委員長 米山 宗 久

第2部 基調報告

「新型コロナウイルス感染症」による長岡市を中心とした地域経済への影響調査

長岡大学教授 石川 英 樹

- 7 主催 長岡大学地域連携研究センター
後援 長岡市、小千谷市、見附市、長岡商工会議所、小千谷商工会議所、見附商工会、NPO法人長岡産業活性化協会NAZE、公益財団法人にいがた産業創造機構

2021・11月長岡大学地域連携研究センターシンポジウム

主催者の開会あいさつ

長岡大学学長
地域連携研究センター長

村山光博



本日はご多用のところ、長岡大学地域連携研究センターシンポジウムにご参加いただき、誠にありがとうございます。

長岡大学の地域連携研究センターでは、センター事業の一つとして地域課題をテーマにした調査研究活動を行っております。その調査研究の成果は毎年11月にこのシンポジウムで報告することで、地域へ還元させていただいておりますが、残念ながら昨年は中止とさせていただきました。申し訳ございません。

本日のシンポジウムでは、「新型コロナウイルス感染症による地域経済・福祉への影響」というタイトルで2件の報告をさせていただく予定ですが、この2件は、いずれも本学の「地域志向教育研究」として、昨年度に選定された課題であり、各教員が1年間取り組んだ調査研究の成果となっております。

「地域志向教育研究」と申しますのは、本学で2013（平成25）年度から始まったもので、教員の地域を志向した研究活動を支援する制度です。年度の始めに学内で研究課題を公募し、審査の上で選定された研究課題に研究費を配分しております。

日本では、ようやく新型コロナウイルス感染症の拡大が収まってきたところですが、これまで約1年半のコロナ禍が地域の経済や福祉に与えた影響は非常に大きいものであり、それがむしろこれから顕在化してくる可能性が懸念されるところです。本日の2件の報告では、それらの影響に焦点をあてております。

なお、本日はコロナ対策のために、オンライン配信も行っておりますことを、お含みおきくださいますようお願い申し上げます。

簡単ではありますが、以上、開会のあいさつとさせていただきます。

本日は、どうぞよろしく願いいたします。